

## イズモコバイモの保護

島根県立三瓶自然館 葭矢 崇司

### I. はじめに

イズモコバイモ (*Fritillaria ayakoana* Naruhashi) は、島根県東部に局限分布する島根県に固有な植物である。近年では、園芸的価値の高さから生育地での盗採が後を絶たず、生育環境の悪化も伴って、急激に個体数が減少する傾向にある。

このような現状を鑑み、保全生態学的な管理手法の確立に向けて、対象となる植物や種生態のみならず、訪花昆虫の種生態や同所的に生育する他の植物との相互関係など生態学的な調査を十分に行う必要がある。

### II. 調査地と調査方法

調査は、島根県中部に位置する大江高山山麓地域で行う。これらの自生地において、イズモコバイモの繁殖にかかわる開花フェノロジーの解析と繁殖に関係する送粉昆虫相とその活動パタンの解明を継続して行う。これらの結果からイズモコバイモの自生地保全に最適な保全方法を検証する。

### III. これまでの成果

平成15年度は、イズモコバイモの訪花昆虫相や同所的に開花する植物の開花フェノロジーについて調査を行った。その結果、イズモコバイモへの訪花昆虫を確認し、袋がけによる調査結果からイズモコバイモの送粉に関わる昆虫の存在が明らかになった。

### IV. 今後の計画

栽培環境下でイズモコバイモの開花フェノロジーについてより詳細に調査を行う。また、実験的手法によりイズモコバイモの繁殖戦略の解析にあたる。また、野外において継続的に訪花昆虫相の調査を行い、イズモコバイモへの訪花行動、繁殖へ寄与する送粉昆虫種について明らかにする。